

一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第30号

2026年3月1日発行

編集・発行 総務委員会

冲永 佳史

平素より、全日本学生柔道連盟役員の皆様、各地区学生柔道連盟の関係の皆様、そして学生の皆様には、全日本学生柔道連盟の活動にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、各大会や事業にご援助いただいております企業や団体の皆様には、日頃よりのご支援に厚く御礼申し上げます。

昨年度は、全日本学生柔道連盟が目指すべき方向としての、社会をより豊かにする人材を、柔道を通じて輩出することを念頭に、そのための基盤作りに力をいれることを中心に事業を展開してまいりました。伝統的な全国大会である優勝大会、体重別選手権大会、体重別団体優勝大会の3大会はもとより、柔道の伝統的な魅力を持ち皆様に徐々に認知されるようになった形大会、柔道の普及をより一層図るための新規事業としてのYAWARA Challenge Tournamentを加え、5大会を主催するとともに、指導者の育成、学生の海外研修、男女共同参画活動を含めた教育的視点に立った活動を行うことができました。

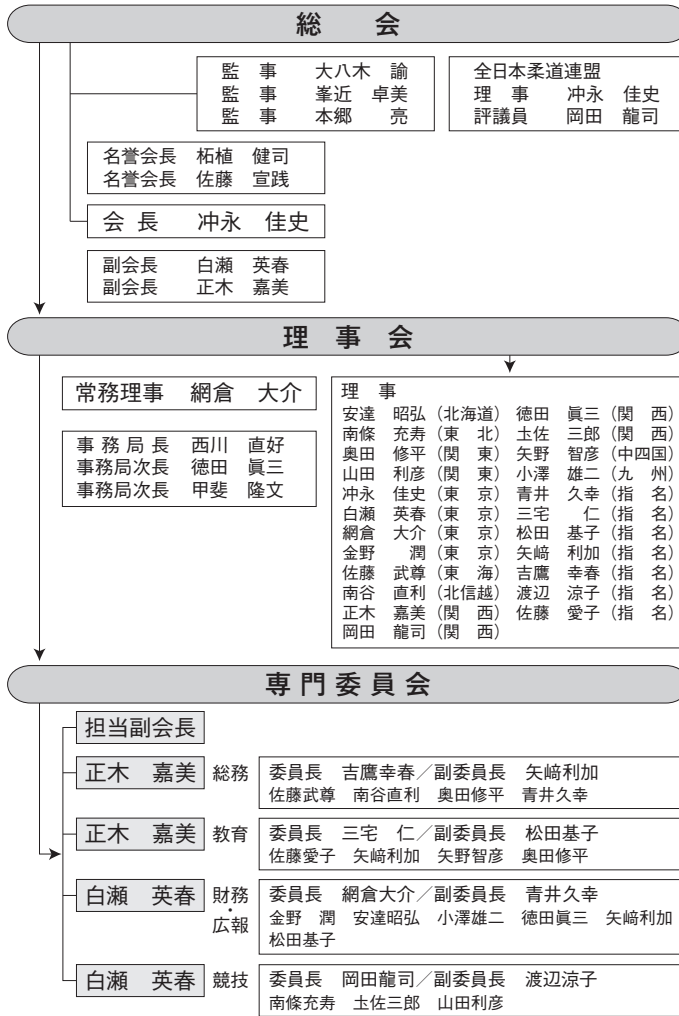
今年度は、すでに優勝大会が無事終わっておりますが、おかげさまで多くの観客の皆様にもお集まりいただき、盛況のもと終了することができました。残り4大会もより活気あふれるものにするのと同時に、一層教育的視点に立って柔道普及を行うために必要な活動である指導者の育成や、学生が柔道を通じ成長できる場の醸成、そして柔道界全体における教育的視点に立った活動を支える仕組みづくりに邁進してまいりたいと思っております。

ことに、教育的視点の意味においては、我々にとっては耳の痛い話があります。これは避けて通ってはいけないものでありますが、昨今柔道界のみならずスポーツ界全体に横たわる大麻や薬物からのリスクに適切に対応すべく、柔道家としてのモラルある行動を意識していただくための啓蒙活動を、これらの危険性をしっかりとした根拠をもとに行なっていくことを考えております。このことは学生柔道連盟のみならず、全日本柔道連盟や高体連などの他の団体と共同して遂行すべきものと捉え、常に情報交換を行い、密な協力関係のもと、同じ方向を向いて進めて参る所存です。

この問題に関しては、先ごろに全日本学生柔道連盟から声明を出させていただき、Webページに掲載しているほか、各地区理事の皆様にも伝達し、各地区でも共有していただくよう働きかけております。また全日本柔道連盟からも全日本学生柔道連盟との連名の形で声明を発表しておりますので、今一度ご認識いただければ幸いです。

今後とも、「精力善用」・「自他共栄」の考えを指導者そして学生諸君が正しく捉え、何かを行う際にこの考えに立ち戻り、熟識し行動に移すことを是とし、より多くの競技力のある柔道家、人を育てられる柔道家、そしてグローバルな視点に於いて共生社会で活躍できる柔道家の排出に力を尽くしてまいります。いずれの事業も、皆様方のご理解とご協力なしには進めることができません。引き続きのご厚情を衷心よりお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

一般社団法人 全日本学生柔道連盟組織図(2024-2026)



理事の職務分担

総務委員会	(1)定款及び細則ならびに各種規定に関する事 (2)年間計画の策定に関する事 (3)日程の調整に関する事 (4)会報及び出版物の刊行に関する事 (5)助成及び顕彰に関する事 (6)正会員に関する事 (7)他団体との折衝に関する事 (8)その他、各委員会の所管に属さないこと等
教育委員会	(1)研修会、講習会、教養講座など教育事業に関する事 (2)国際交流に関する事 (3)医学に関する事等
財務・広報委員会	(1)資産及び会計に関する事 (2)会費の徴収、財源の確保に関する事 (3)賛助会員の拡大に関する事 (4)競技会の協賛に関する事 (5)本連盟等の広報に関する事等
競技委員会	(1)競技に関する事 (2)審判員に関する事 (3)競技力向上に関する事 (4)国際競技会等への代表選手選考に関する事等

正会員数(地区学生柔道連盟別・2025年12月1日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海	北信越	関西	中国四国	九州	合計
12	17	38	49	16	22	44	26	27	251

【北海道】

当連盟では、2025年3月30日(日)の理事会において役員改選を行いました。長年にわたり会長を務められた岩崎満(北海道柔道連盟会長)が退任し、新たに安宅一夫が会長に就任し、新たな体制がスタートしました。

2025年度の加盟状況としては、加盟12校、部員数193名(男子159名、女子34名)となっております。

加盟校や部員数は年々減少している状況ですが、4月26日(土)に札幌大学柔道場にて、当連盟主催の合同練習会を開催し、大変有意義な稽古を行うことができました。合同練習会は今年度中に残り2回の開催を予定しており、加盟校の選手全体の強化・底上げを図っていきたいと考えております。

【2025年度 大会予定】

- ・5月18日(日)
北海道学生柔道優勝大会(男子74回 女子34回)
- ・8月23日(土)
北海道学生柔道体重別選手権大会(男子44回 女子37回)
- ・8月24日(日)
北海道学生柔道体重別団体優勝大会(男子27回 女子2回)
- ・11月22日(土)
北海道学生柔道新人大会(第61回)
北海道学生女子柔道階級別選手権大会(第22回)

【2025~2026年度 役員】

名誉顧問	高梨 幸輔	武田 泰明	
参 与	宮本 正範	金澤美樹彦	
	筒井 昇	工藤 正義	
名誉会長	岩崎 満		
会 長	安宅 一夫		
副 会 長	小山 尋明	岩井 真	
理 事 長	安達 昭弘		
副理事長	松浦 英幸	森 洋一	
常任理事	大内 基樹	阿部 眞久	今井 克俊
	三嶋 康嗣	熊澤 幹二	大谷 浩輔
監 事	坂井 俊文		
事務局長	大谷 浩輔		

北海道学生柔道連盟 事務局長 大谷 浩輔

【東北】

1. 役員の改選

昨年度に引き続き2025年度も豊嶋良一会長、南條充寿理事長のもとで順調に事業運営を行っている。

2025年度役員

名誉会長	遠藤 純男	元会長
顧 問	佐々木武人	元会長
顧 問	高橋富士男	前会長
会 長	豊嶋 良一	東北学院大学
副 会 長	佐々木安廣	富士大学
副 会 長	三戸 範之	秋田大学
副 会 長	高橋 俊哉	弘前大学
理 事 長	南條 充寿	仙台大学
副理事長	大関 貴久	東日本国際大学
副理事長	阿部 文智	東北学院大学
監 事	及川 大道	東北大学
監 事	盛 広	青森中央学院大学
事務局長	佐藤 佳祐	東日本国際大学
次 長	三浦 友和	東北福祉大学
学生委員長	森谷 翔駿	東日本国際大学

2. 東北学連の事業運営

2024年度の事業については、豊嶋会長、南條理事長を中心とした運営体制のもと、滞りなく遂行することができた。

学生中心の運営を心がけており、代表者会議、大会進行、大会本部委員は学生が運営をしている。

3. 今後について

東北学生柔道連盟の理事会(web)に学生も参加し、各検討事項、運営に携わり活発な意見交換がされている。

「学生による、学生のための大会」の位置づけを今後も明確化し、引き続き学生とともに運営に携わっていきたいと考える。

東北学生柔道連盟 事務局長 佐藤 佳祐(東日本国際大学)



【関東】

○2025年度に向けて

2025年3月に行われた2024年度関東学生柔道連盟総会において、昨年度に引き続き吉鷹幸春先生を会長とした役員が構成され体制が整えられた。本連盟のさらなる発展のためにご尽力いただきたい。

さて2025年度の主な事業計画は、5月24日関東学生柔道優勝大会（男子72回、女子31回）を東金アリーナ（千葉県東金市）、8月23、24日関東学生柔道体重別選手権大会（男子64回、女子38回）を埼玉県立武道館（埼玉県上尾市）で開催、年2回の審判講習会（オンライン）は高橋進先生を講師として開催する。

本連盟では、昨今の加盟校・加盟学生の減少もあり様々な見直しを行った。1つ目は、価格高騰の影響もあり、財源確保のための連盟登録費の増額が2024年度の総会で可決された。2つ目は、男子二部の試合方法について、これは今年度中の継続審議として、本連盟の学生が1試合でも多く、各々の努力の成果を発揮するため、柔軟性のある大会にできるよう審議していきたい。

次に、ここ数年、本連盟独自の海外研修の実施ができていない。学生にとって諸外国で柔道の試合・稽古をすることは大変貴重な経験と言える。昨年度は、日学連主催のフランス遠征に本連盟から学生が参加し、非常に有意義な体験だったと聞いている。本連盟でも、海外研修実現に向けて、体制を整えていきたい。

最後に、2024パリ五輪において、本連盟OBの永瀬貴規選手（旭化成：筑波大卒）、OGの新添左季選手（自衛隊体育学校：山梨学院大卒）が日本チームの団体戦銀メダルに貢献し、永瀬選手については2大会連続の金メダル獲得を達成した。2025ブタベスト世界選手権においても、永瀬選手をはじめ、田嶋剛希選手（パーク24：筑波大卒）、高橋瑠璃選手（SBC湘南美容クリニック：山梨学院大卒）、古賀若菜選手（JR東日本：山梨学院大卒）、寺田宇多菜選手（JR東日本：桐蔭横浜大卒）、淵田萌生選手（自衛隊体育学校：山梨学院大卒）が日本代表として選出された。日本選手団の活躍を大いに期待しつつ、学生柔道も大いに盛り上げていきたい。

関東学生柔道連盟 事務局長 奥田 修平

【東京】

2025年度を振り返って ～白瀬会長5期目、集大成の年～

本年度の連盟諸事業は、概ね予定通り実施されました。猛威を振るったコロナ禍も収束し、連盟を取り巻く環境は、インフレ、物価高騰等もあり事業運営には、財源確保と経費節減が喫緊の課題となっております。これまでの主催大会事業はもとより、主管事業（全国大会）においても、白瀬会長体制の集大成の年と位置付け、新たに役員構成を拡充し連盟運営を行うこととなりました。社会問題でもある少子化により、加盟校数や登録者数は減少傾向に歯止めがかからず、これまでオープン大会の開催等、学生柔道の普及に努めてまいりましたが、さらなる普及策を講じていく必要性から、現在、専門委員会において活発な協議を進めております。これからも加盟校との連携を一層深め、役員一丸となって、この厳しい環境を乗り越えて参ります。今後とも関係各位のご協力を賜りますようお願いいたします。

（組織運営）

連盟運営の方向性を示す「運営ガイドライン」をバージョンアップし、将来的な視点での自主財源ベースの運営を目標におきます。より安全な諸事業の実施を目指してまいります。また、全国大会主管連盟としての体制整備・充実を進めて行きます。

（財務状況）

経済情勢を踏まえ、財源確保のため、執行部・理事会・専門委員会において積極的な議論検討を踏まえ、必要な諸施策を講じてまいります。

歴代の佐藤会長、高木会長から現在の白瀬会長に引き継がれた「Come Back 柔道連盟サポーター（賛助会員）」は毎年多くのご加入を頂き、大会にも多数ご来場いただき、その実をあげております。

（教育普及）

これまで成果を挙げて参りました海外研修事業に関しては、昨今の経済情勢を踏まえ、柔軟な対応が必要と考えております。これまで見合わせされてきましたが、国際人の育成を連盟全体に波及させていく事の目的を踏まえ、新たな事業の創出等、事業復活を検討してまいります。また、学生柔道の裾野を広げ、かつ技術的な向上を目的として事業化しております、「柔道出前講座」は、加盟校からも大変好評を得ております。さらに、社会貢献・奉仕の心を養うために、多年に渡り実施しております全国視覚障害者柔道大会の運営協力も行いました。

東京学生柔道連盟 理事長 網倉 大介

【東京(続き)】

今年度役員(任期は規約により2年)

会長 白瀬 英春・東海大学
副会長 大八木 諭・中央大学
石原研二郎・東京大学
森脇 保彦・国士舘大学
渡邊 敏之・法政大学
金野 潤・日本大学
網倉 大介・日本大学
名誉顧問 佐藤 宣踐・東海大学
顧問 武内 政幸・大東文化大学
理事長 網倉 大介・日本大学
副理事長 西川 直好・法政大学
廣瀬 伸良・順天堂大学
青井 久幸・中央大学
監事 林 信男・東京大学
池田 悦雄・法政大学
事務局長 甲斐 隆文・日本大学
事務局次長 小林祥太郎・日本体育大学
総務事業委員長 瀧本 大成・慶應義塾大学
総務事業副委員長 穴井さやか・帝京大学
渡辺 崇・日本体育大学
財務委員長 青井 久幸・中央大学
普及・競技委員長 佐藤伸一郎・拓殖大学
普及副委員長 普及担当 高橋 歩・専修大学
普及副委員長 競技担当 上水研一郎・東海大学
普及副委員長 普及・競技担当 佐藤 愛子・東京女子体育大学
学生統括委員長 細田 明・日本体育大学
学生統括副委員長 寺下 浩陽・日本大学

学生役員より

私たち東京学生柔道連盟は、4年生1名、3年生4名、2年生2名、1年生1名の計8名の学生が大学の代表であるという自覚を持ち、学業との両立を図りながら、日々活動を行っています。

当連盟は、いわば柔道界の「緑の下の力持ち」として、選手のように注目を浴びることは少ない立場にあります。しかし、私たちは一人ひとり誇りを持って、柔道界に貢献しているという自負があります。選手が少しでも気持ちよく試合に臨める環境づくりを第一の目標に、日々稽古に打ち込む選手と同じ心持ちで事業に取り組んでおります。

学生柔道界のレベルは上がり続け、近年では国際大会においても学生の活躍が光を放っております。2028年ロサンゼルスオリンピックを見据え、日本柔道界ひいてはスポーツ界全体を鼓舞する礎となるべく、我々学連委員も一丸となって努力を重ねてまいります。

今年度においても三重県四日市市総合体育館にてYAWARA Challenge Tournament大会(全国女子オープン大会)を開催いたします。これまでの運営経験を活かし、より一層充実した大会となるよう、学生委員一同が力を合わせて取り組んでまいります。

各地区学生柔道連盟並びに関係者の皆様には今後一掃のご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟 学生委員長 鈴木 尊輝

【東海】

東海学生柔道連盟は、竹内外夫会長を中心に、佐藤武尊理事長、久野高裕副理事長、三宅恵介副理事長の現体制のもと、組織の構造改革や大会運営の見直し、新たな事業の展開を見据え、東海地区における学生柔道のさらなる活性化に取り組んでおります。

今年度は、昨年度の全国大会での成績を上回る成果を挙げられるよう、東海学生柔道連盟として一層の努力を重ねてまいります。その実現のためには、各チームの組織力や競技力の向上はもちろん、連盟内で日々切磋琢磨し、互いに刺激し合える環境づくりが欠かせないと考えております。こうした環境の整備には、安定した資金基盤の確保も不可欠です。昨年度から、特別協賛企業のご支援を受けることに成功し、運営体制の安定に大きく寄与しております。これにより、各種大会や強化事業の充実が可能となり、選手たちが安心して競技に専念できる環境づくりが進んでおります。

今後は、合同練習会や講習会、海外遠征などの主催事業をさらに充実させ、組織全体でレベルの底上げを図るとともに、より魅力ある連盟へと発展させるべく、さまざまな取り組みを進めてまいります。引き続き、東海学生柔道連盟へのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

1. 役員

会長	竹内 外夫 (中京大学名誉教授)
副会長	松本 秀彦 (至学館大学准教授)
理事長	佐藤 武尊 (皇學館大学准教授)
副理事長	久野 高裕 (愛知大学職員)
副理事長	三宅 恵介 (中京大学准教授)
事務局長	福井 博泰 (名城大学職員)
事務次長	早川 太啓 (中京大学実技嘱託講師)
事務次長	松田 悠佑 (皇學館大学職員)
監事	柴田 光徳 (元愛知学院大学職員)
監事	小林 秀明 (名古屋商科大学OB)
学生委員長	河邊 朝暉 (愛知大学)
学生副委員長	鈴木 魁人 (愛知大学)
学生副委員長	竹内 悠真 (名城大学)
事務局補佐	後藤 大翔 (名城大学)

2. 開催行事

5月11日(日) 於：愛知県武道館

第72回 東海学生柔道夏季優勝大会

第32回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

8月30日(土) 於：ベルウィング武道交流館(名張市武道交流館いきいき)館

第44回 東海学生柔道体重別選手権大会

第42回 東海学生女子柔道体重別選手権大会

3. 昨年度大会結果(団体優勝校)

第71回 東海学生柔道夏季優勝大会

男子7人制 皇學館大学 男子5人制 米田柔整専門学校

第31回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

女子3人制 中京大学

4. 学生委員長(愛知大学4年生 河邊朝暉)のこトバ

このたび、令和七年度 東海学生柔道連盟の学生委員長を務めさせていただくこととなりました、愛知大学4年の河邊朝暉と申します。

私はこれまで選手として数多くの大会に出場してまいりましたが、昨年度から学生副委員長という立場で、大会運営に携わる貴重な経験をさせていただいています。その中で、竹内会長をはじめとする常任理事の先生方、そして多くの関係者の皆様にご指導・ご支援をいただき、無事に大会を成功へと導くことができていると感じます。改めて深く感謝申し上げます。

運営を通じて選手が全力を出せる舞台は、裏方で支える方々の尽力によって成り立っていることを実感しています。今年度はその学びを糧とし、学生の代表である学生委員長としての責任を胸に、一つ一つの大会を丁寧に運営してまいります。

すべての選手が安心して試合に臨めるような環境づくりを目指し、誠意をもって努めてまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしく申し上げます。

東海学生柔道連盟 副理事長 三宅 恵介

【北信越】

<北信越学生柔道連盟役員>

会 長 牧 泰二
 副 会 長 阿部高弘・上田重隆・大柿 実・松永大吾・
 藤田真郎・玉田善明・紐野義昭・野本正人・
 青木 恵・武田秀則・諏訪部仁・大島公一
 理 事 長 南谷直利
 副理事長 渡辺直勇(兼事務局長)
 常任理事 渡辺涼子・鈴木貴士(会計)・川端健司・
 桐生 拓・宮本 晃・林 俊伍・星野 力・
 近間陽介

<2025年度大会予定>

5月18日 2025年度北信越学生柔道優勝大会(男子74回・
 女子34回)
 (長野県立武道館)
 8月30日 2025年度北国杯北信越学生柔道体重別選手権大会
 (男子44回・女子37回)
 (石川県立武道館)
 8月31日 2025年度北信越学生柔道体重別団体優勝大会(第
 27回)
 (石川県立武道館)
 11月 2025年度全日本学生柔道形競技大会(第4回)
 ~12月 (オンデマンド開催)
 11月15日 2025年度湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会
 ~16日 (第22回) 男子個人戦
 (白山市松任総合運動公園啓武館)

<その他行事予定>

5月17日 北信越学生柔道連盟常任理事会(第1回)・役員総会
 (長野県立武道館)
 8月29日 北信越学生柔道連盟常任理事会(第2回)
 (石川県立武道館会議室)
 2025年
 2月28日 北信越学生柔道連盟常任理事会(第3回)
 (金沢市)

※常任理事会後に情報交換会・懇親会を年度計1~2回程度、適切に開催予定。

2025年度湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会を男子個人戦で実施予定である。また、2024年度北信越学生柔道連盟海外研修をシンガポール遠征(団長:牧泰二氏、副団長:藤田真郎氏、学生選手:10名、2025年2月20日~2月25日)で実施した。加えて、本連盟は2025年度全日本学生柔道形競技大会(第4回)の主管を務める。

北信越学生柔道連盟 事務局

【関西】

本連盟では、佐々木裕二会長の体制のもと、円滑な大会運営、組織の運営・活性化に学生幹事を中心に業務に取り組んでおります。また、今年度の各大会運営においても、OB・OGを含めた「チーム関西」として取り組み、関西学生柔道優勝大会(2025年5月26日)、関西学生柔道体重別選手権大会(2025年8月17日)の両大会を主催として、また全日本学生柔道体重別団体優勝大会(2025年10月18・19日)を主管として、それぞれの大会を無事に開催することができました。これは、チーム関西としての協力体制や、大会運営にご尽力を賜りました関係各位のご尽力の賜物であり、この場を借りて心より感謝申し上げます。毎年のように、大会運営におけるさまざまな課題が散見されますが、それらを地道に解決することが連盟全体の知的財産と経験、そして地力につながるものと考え、今後も活動を継続してまいります。

また、本連盟の活動は大会運営に加え、今年度も国際交流として、8月19日~8月23日にかけて、本連盟から選抜された学生18名と役員6名で韓国・釜山に海外遠征を実施しました。5日間の日程で実施された遠征では、参加した学生が異文化の理解や教育、交流を目的として、東義大学の柔道場で稽古やトレーニングを行いました。この遠征を通じて、学生は、帰国後の学生生活や卒業後の社会人としての生活に活かすことのできる多様な経験を蓄積することができたものと思われま。

以上、本連盟の活動は、決して自らの組織だけで取り組んだことではなく、関係各位などのさまざまな方々のお力添えによって成立しているものと考え、連盟として感謝申し上げますとともに、今後も継続したご指導をお願いしたいと思っております。これこそ柔道の教育理念である「精力善用・自他共栄」であり、柔道実践だけでなく、連盟の活動を通して学ぶことができ、われわれ修行者にとって新しい時代においても必要不可欠な考え方ではないでしょうか。このことを肝に銘じ、これからも学生柔道がますます発展するとともに、本連盟が社会を補益する人材を輩出する使命を担えるような取り組みを一九となつて目指したいと考えております。

関西学生柔道連盟 会 長 佐々木裕二
 副 会 長 正木 嘉美
 副 会 長 峯近 卓美
 理 事 長 岡田 龍司

【中国四国】

中国四国学生柔道連盟は、5月13日に理事会、5月15日に総会をオンラインで開催し、令和7年度の事業計画等を承認しました。

昨年度は、全日本学生柔道優勝大会3人制で広島大学が初優勝、5人制で環太平洋大学が準優勝、男子では岡山商科大学がベスト16に、全日本学生柔道体重別団体優勝大会の女子で環太平洋大学が準優勝となるなど、大いに活躍してくれました。

一方、18歳人口の減少により、新たに3大学の退会も承認され、加盟校も26大学となりました。これは、地方大学の課題でもあり、今度、当連盟の魅力をさらに発揮していきたいと考えております。今後も様々な取り組みを実施しながら、魅力ある連盟と発展していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(令和7年度 中国四国学生柔道連盟 行事予定)

4月4日(金)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会

5月13日(火)

中国四国学生柔道連盟 理事会

5月15日(木)

中国四国学生柔道連盟 総会

5月17日(土)~18日(日)

中国四国学生柔道優勝大会(男子71回、女子32回)

[岡山武道館]

7月4日(金)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会

8月30日(土)

中国四国学生柔道体重別選手権大会(第44回)

[愛媛県武道館]

中国四国学生女子柔道体重別選手権大会(第41回)

[愛媛県武道館]

8月31日(日)

中国四国学生柔道体重別団体優勝大会

(男子第27回、女子4回)[愛媛県武道館]

2月中旬

中国四国学生柔道連盟 定例常任理事会

中国四国学生柔道連盟 強化合宿

中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津 良仁

【九州】

九州学生柔道連盟では、先の定例総会におきまして、収支決算報告、行事予定、収支予算、役員改選、規約改正等が議題として審議・承認され、2025年度の行事予定および役員は以下のとおりとなりました。

また、九州学生柔道優勝大会の結果により、6月に開催される全日本学生柔道優勝大会には、男子5大学(福岡大学、日本文理大学、熊本学園大学、鹿屋体育大学、東海大学九州)、女子一部3大学(福岡大学、鹿屋体育大学、別府大学)、女子二部3大学(九州共立大学、福岡工業大学、東海大学九州)が出場いたします。九州代表の各大学の選手の皆さんには、それぞれのチームの目標達成を目指し、そして大会開催にご尽力いただいた皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、日本武道館の畳に上がっていただきたいと思っております。

当連盟も、加盟大学が一丸となって魅力ある連盟として発展していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【行事予定】

5月17日 定例総会

5月17日・18日 2025年度九州学生柔道優勝大会
(男子73回、女子33回)

8月30日・31日 2025年度九州学生柔道体重別選手権大会(男子68回、女子38回)

【役員紹介】

名誉会長 藤田 弘 明

会 長 中 原 一

副会長 羽田野 節 夫

安河内 春 彦

清 水 克 巳

理事長 小 澤 雄 二

副理事長 坂 本 道 人

泉 麻 生

檜 崎 教 子

事務局長 飯 田 勝 弘

2025年度 全日本学生柔道

YAWARA

Challenge Tournament (第二回)

大会結果

会場：四日市市総合体育館

記

48kg級

優勝	城戸 珊瑚	国士館大学
準優勝	納庄 千寿	国士館大学
第三位	近藤 杏樹	山梨学院大学
	横山 りせ	龍谷大学

52kg級

優勝	長谷 心美	東京学芸大学
準優勝	清水 唯南	順天堂大学
第三位	清水 夏美	国士館大学
	佐藤 心美	山梨学院大学

57kg級

優勝	石川 陽	帝京科学大学
準優勝	村松 舞琳	環太平洋大学
第三位	中村 彩夏	帝京科学大学
	川原 輝子	東京学芸大学

63kg級

優勝	戸潤 望愛	仙台大学
準優勝	加藤 陽菜	順天堂大学
第三位	森 静玖	東海大学
	吉田 璃子	環太平洋大学

70kg級

優勝	吉永 碧衣	明治大学
準優勝	小野 友歌	環太平洋大学
第三位	田中 あい	筑波大学
	森山 美優	龍谷大学

78kg級

優勝	大多 和心	筑波大学
準優勝	飯田 星那	東京女子体育大学
第三位	林 弘華	帝京科学大学
	栗原 あづ	仙台大学

78kg超級

優勝	上垣 煌	近畿大学
準優勝	瀬古 桃杏	日本大学
第三位	山口 晏奈	明治国際医療大学
	山本 海蘭	山梨学院大学

一般社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:http://www.gakujuren.or.jp